



脱炭素のまちづくり実現に向けて No.1

脱炭素社会を考えるイベント「脱炭素のまちづくり実現に向けて No.1」を、7月24日にひと・まちプラザ3階で開催しました。

茅野市地球温暖化対策地域協議会が主催の環境イベント。関係するアニメ映画の上映のほか、ゼロカーボンのお話、東海大学付属諏訪高等学校科学部の生徒による空気や液体窒素などの科学ショーが行われ、参加した子どもたちの歓声が響きました。



英語に親しみ、楽しむイベント イングリッシュ デイ キャンプ

7月25日、市内の小学5、6年生が英語で交流するイングリッシュ デイ キャンプを青少年自然の森で開催しました。

複数校の児童がグループを作り、各グループに外国語指導助手（ALT）の先生が入りました。英語を使った伝言ゲームや、絵のクイズなど様々な遊びが行われ、楽しみながら英語に親しむ姿が見られました。

このイベントは英語学習への興味を深め、実践的に英語力（特に話す力）を高める目的で始まり、今年で4年目となります。2年目までは1泊2日で行っていましたが、昨年からの新型コロナウイルスの影響により、日程を1日、参加者を午前と午後に分けて開催しました。



よりよいまちづくりのために連携 地方創生に係る包括連携協定

7月8日、森ビル株式会社、イーヒルズ株式会社および東京海上日動火災保険株式会社と、第2次茅野市地域創生総合戦略に基づいた地方創生の実現を目的として「包括連携協定」を締結しました。

この包括連携協定により、安全・安心な市民生活の実現に関することや、防災・減災の取り組みに関すること、ICT化の推進に関することなど、地方創生に関する幅広い分野の課題解決に向けて連携していきます。

具体的などころでは、低電力で長距離通信を可能にする無線通信技術「LPWA」を防災・減災において活用することを検討しています。



↑左から
 イーヒルズ株式会社
 取締役 渡部宗一氏
 森ビル株式会社
 取締役副社長・執行役員 森浩生氏
 茅野市長
 今井敦
 東京海上日動火災保険株式会社
 常務執行役員 横井文昭氏



ポンプ前方に位置する「除塵機」



下方に見えるのが水門と一体化している大型ポンプ

地元住民へ安心・安全を届ける 小江川ポンプゲート完成

茅野市上原の「小江川」の内水氾濫防止のために設置工事を進めていた小江川ポンプゲート（口径1.2m、毎秒6m³を排水するポンプ）が完成し、7月18日に地元住民対象の現地説明会を開催しました。

小江川は平成29年、30年に秋の台風で浸水被害が起き、対策が急務でした。地元住民の方は約60人が参加し、大雨時の安心安全につながるとして、設備の完成を喜びました。



大型ポンプ